

プレミアムコース1日目 内臓治療



ALLアプローチ協会
代表 山口 拓也

自己紹介

- 名前（アダ名）
- 職業
- 趣味
- 今後のビジョン・夢・やりたい事
- 拍手（パチパチ）



事務連絡

- ・ 1 時間 3 0 分に1回休憩を入れます
- ・ セミナー終了は 1 6 時 3 0 分を予定しておりますが、セミナー終了後に懇親会を予定しております。
- ・ 受講生の組み合わせは、シャッフルさせていただきますのでよろしくお願い致します。

内臓治療 基礎・基本



【内臓治療の目的】

①イネイトインテリジェンスの機能を上げる目的に行います。
排泄(解毒)、同化(吸収)、適応(免疫)、生殖、成長
を通して自然治癒力を高める能力の

②体質を変えるため...
体液(血液、脳脊髄液、リンパ液)の質(栄養、ホルモン、毒素など)をか
えてあげる。通常3ヶ月かかることを覚えておく。

・③内臓システム、各臓器の機能と役割

排泄(解毒)、消化、吸収、免疫、循環、代謝、生殖、ホルモンの8つの
システム・機能が内臓それぞれにある。

内臓治療の考え方

内臓は、マルチタスクが行えないです。
(1つの事しかできない)

免疫、排泄、消化、吸収などを1つの臓器は同時に 行えません。

肝臓や腎臓などは、様々な機能を持っているため他の内臓機能が下がるとカバーしようとして負担がかかりやすいです。

(マルチタスクが行えないを例にして解説)

・風邪 ・リウマチ ・内臓摘出など

内臓治療の考え方② 構造のズレ

内臓は、**背側、下方**にずれていることがほとんどです。
腹側・上方にしっかりリリースしてあげましょう！

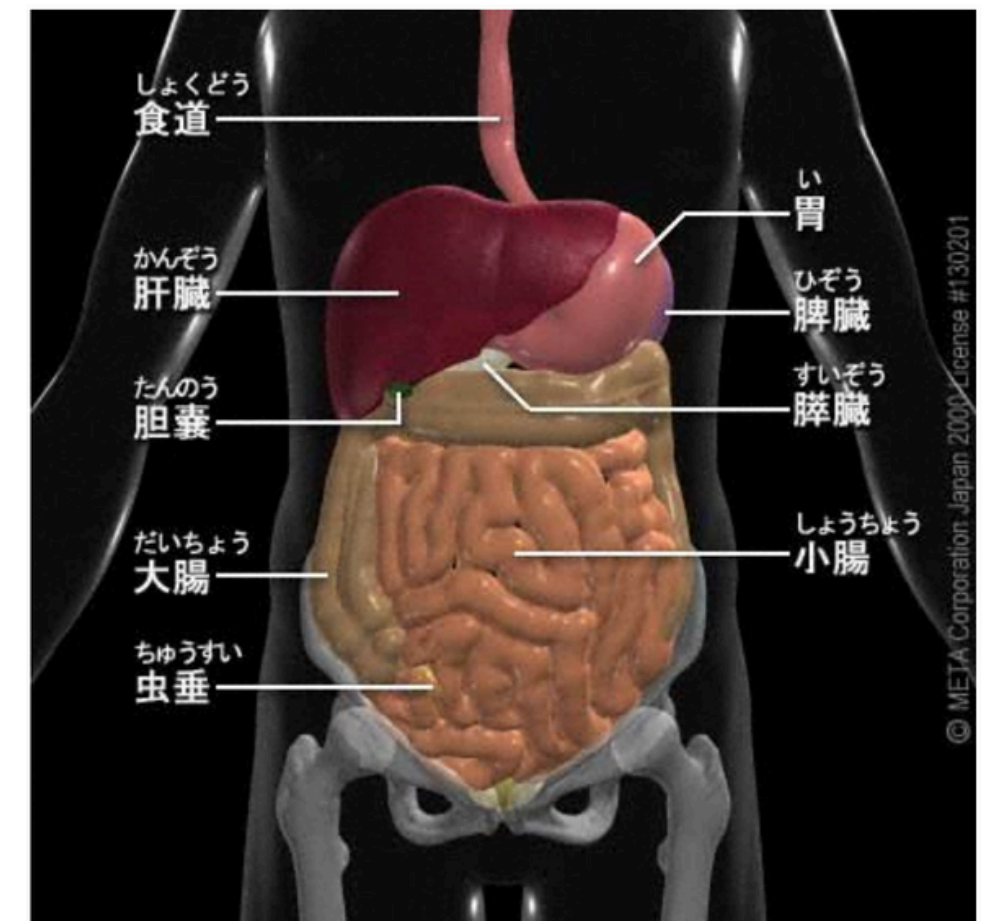
（内臓がずれることによる二時的な問題について）

- 例えば、肝臓が背側、下方にズレたらどうなると思いますか？

（内臓がズレると機能が下がる理由）

内臓は正しい位置に収まっていないと
脳が認知して指令を出すことができなくなってしまうんです。

内臓自体は平滑筋であり、脳が認知して自律神経を介した
活動しなければいけません。



内臓の役割一覧

消化：肝臓、膵臓、胃、十二指腸、小腸、大腸

吸収：肺、小腸、大腸

代謝：肝臓

循環：心臓、肺、肝臓、脾臓、腎臓

免疫：肺、肝臓、脾臓、小腸、大腸

排泄：肺、肝臓、腎臓、大腸、子宮

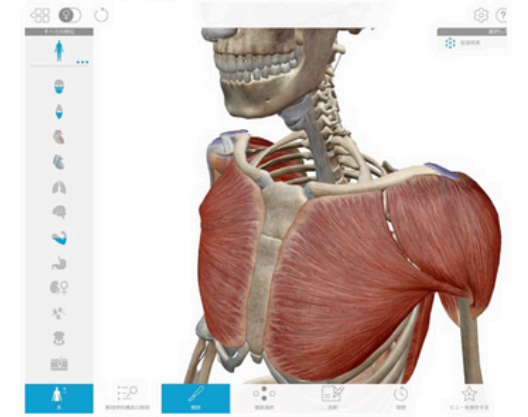
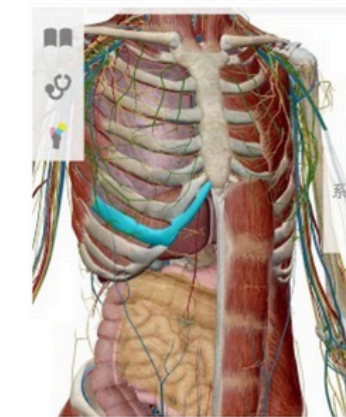
生殖：子宮、卵巣

ホルモン分泌：膵臓、副腎、卵巣、胸腺

お勧めの学習アプリ

【ヒューマン・アナトミー・アトラス】

携帯やタブレットで内臓や筋肉、骨の位置を確認しよう！



内臓治療 好転反応

【好転反応とは？】

- ・ 治療の過程で一時的に起こる身体反応のこと。反応の程度はさまざまである
- ・ 主訴となる症状が一過的にぶり返したかのように見える場合もある。
- ・ 溜まっていた老廃物が血液中に流れること等が要因として考えられる



- ・ 患者様への説明が重要（一時的に悪化する可能性がある）

好転反応＝体が改善されていく時に起きる成長痛



- ☐ デトックス効果や抗酸化作用のあるものを摂り続けると起きる
- ☐ 改善が大きい所（＝悪くなっているところ）ほど反応が大きい
- ☐ 発生には個人差があり、起きない人も多い

内臓と五十肩について

右肩こり: 右肺、肝臓、胆のう、右腎臓、回盲弁、上行結腸

左肩こり: 左肺、心臓、胃、脾臓、膵臓、左腎臓、S状結腸、下行結腸

左右肩こり: 横行結腸、子宮、小腸

右は、構造的な問題や栄養の問題で五十肩となりやすい。

左は、感情的なストレスや自律神経的な問題で五十肩となりやすい。

ソマトエモーションナルリリース (SER) について

■ソマトエモーションナルリリースとは？

感情の影響が組織の記憶に結びついた状態で心身に残ってしまいます。

記憶が肉体と感情で結びつき心身に悪影響を及ぼしているので、この問題点である結びついた組織を緩める際に感情の解放を同時に行える現象の事をSERと呼んでいます。

■SERが起こりやすい部位

- ①胸骨
- ②前頸筋膜(鎖骨など含む)
- ③肋骨、胸椎
- ④内臓
- ⑤頭蓋骨

上記の5つは、起こりやすいエリアとされています。

身体のストレスの負担が溜まりやすい部位でもあります。



内臓治療を行うための方法について？

- ①内臓のストレッチを起こす
- ②内臓に関与する血管にアプローチを加える（ポンプ）
- ③内臓に対して圧刺激を加える（プレス）
- ④内臓に熱刺激を加える
- ⑤共鳴、調和を引き起こす
- ⑥内臓反射点リリース
- ⑦経絡アプローチ
- ⑧チャクラアプローチ
- ⑨解毒解法テクニック
- ⑩頭蓋仙骨療法からの内臓アプローチ

（イメージで治る流れ）
仙骨・脊椎→脳脊髄液・脊髄
→脳→末梢神経or中枢神経→全身

【周波数→共鳴、同調→調和について】

- ・周波数を合わせる→イメージが伝播できる→共鳴（内蔵が反応する）
- ・同調（相手に合わせていく・治療部位をしっかりと意識する）→調和（相手と一体になりイメージが波及できる）

【内臓治療の練習】

イメージで自分の内臓を緩ませる

肝臓治療・胆嚢治療

■内臓反射点

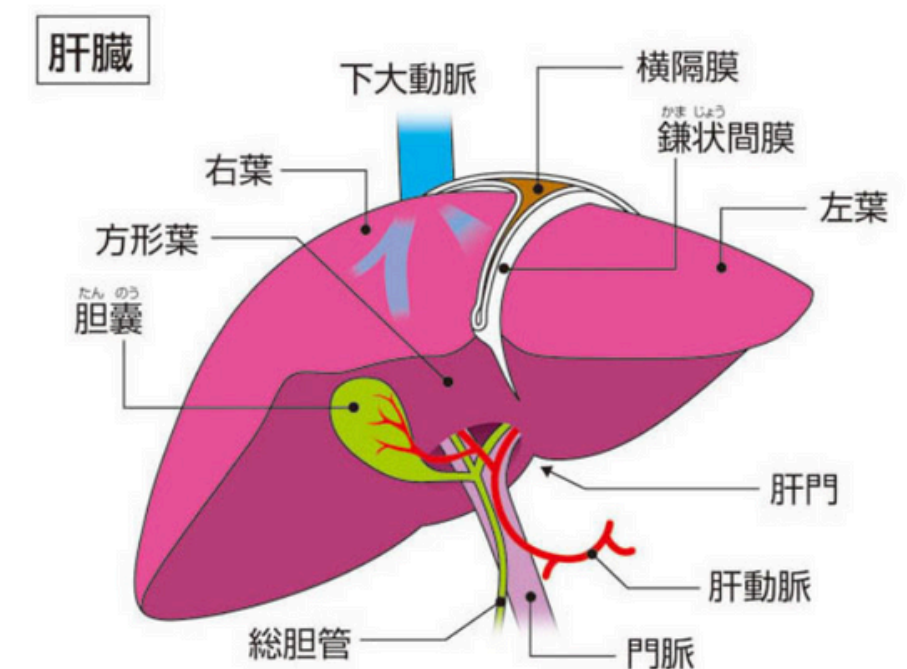
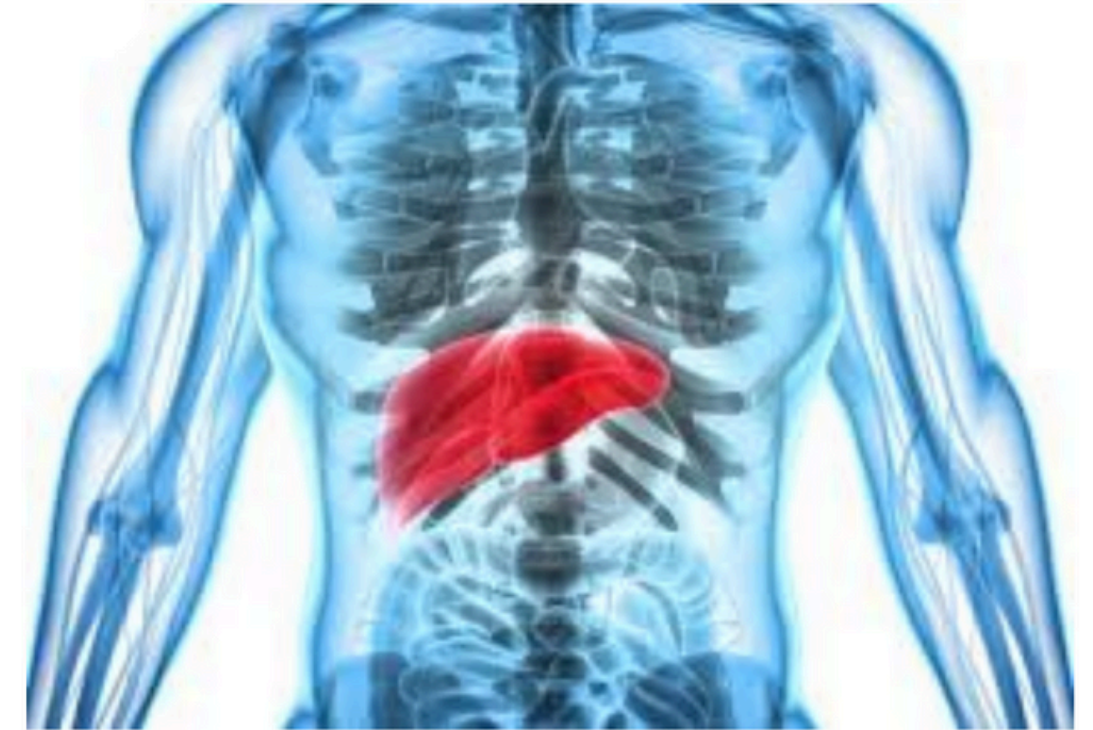
- ①右母指の水かき
- ②第2肋骨中央
- ③アキレス腱移行部
- ④右上腕内側

■肝臓評価

- ・胸郭の硬さ、反射点の硬さ、頭蓋（重さ、1次呼吸）
- ・ROM（右肩・体幹）

■治療方法

- ・肝臓ポンプテクニック
- ・肝臓プレステクニック
- ・肝臓リフトテクニック
- ・肝臓＋前頭骨アプローチ
- ・胆嚢プレス



肝臓リリース

【位置】

T11～L1の大きさ（右葉）

剣上突起のやや上～第10肋骨・下部肋骨内に収録されている

【繋がり】

横隔膜（右三角間膜・肝冠状間膜を経由）

総胆管と胃（小網）

腎臓と結腸曲

【メインの働き】

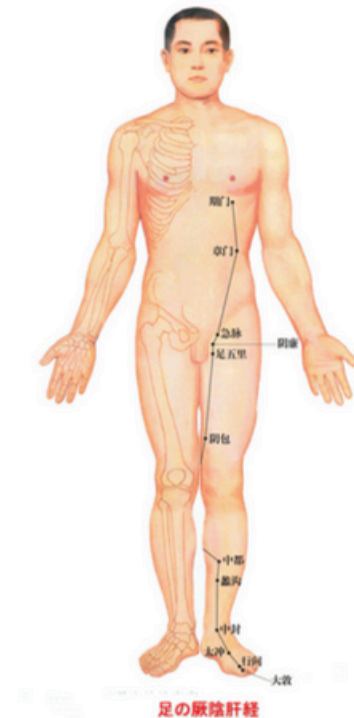
消化・免疫・代謝・循環・排泄

【アプローチ方法】

- ①同調
- ②レイキ
- ③肝経
- ④たたみ込み
- ⑤第3チャクラ

【感情との関連】

怒り



【循環】

動脈：腹腔動脈からの固有肝動脈

静脈：門脈、下大静脈（肝静脈）

【臓器時計】

最高時：午前1時～3時

最低時：午後1時～3時

【可動力・自動力】

別紙参照

【症状】

朝起きた時の腰背部痛（20分で解消）

免疫低下

右側の肩関節周囲炎

胸郭出口症候群

坐骨神経痛

右股関節痛

慢性腰痛（脊柱管狭窄症・すべり症）

【肝臓に問題があると起こる問題】

- ・活力低下
- ・浅い眠り
- ・消化に問題がある（エストロゲンの問題）
- ・右側、腹部を下にして寝れない
- ・午前1時～3時に汗かいて起きる
- ・右上腹部の痛み
- ・慢性副鼻腔炎
- ・眼科の問題
- ・アセトン臭がある口臭
- ・脂っぽい皮膚や頭髮
- ・脱毛
- ・口内炎
- ・体重増加

【肝臓に問題が起こりやすい人】

- ・アルコール（分解能力が引く人は余計）
- ・薬物
- ・ホルモン剤（エストロゲン）など
- サプリを多く摂取する人
- ・栄養素が少ない人
- ・水分摂取が少ない人
- ・食生活が悪い人（硫黄を含む食品など）

胆嚢治療

内臓反射点

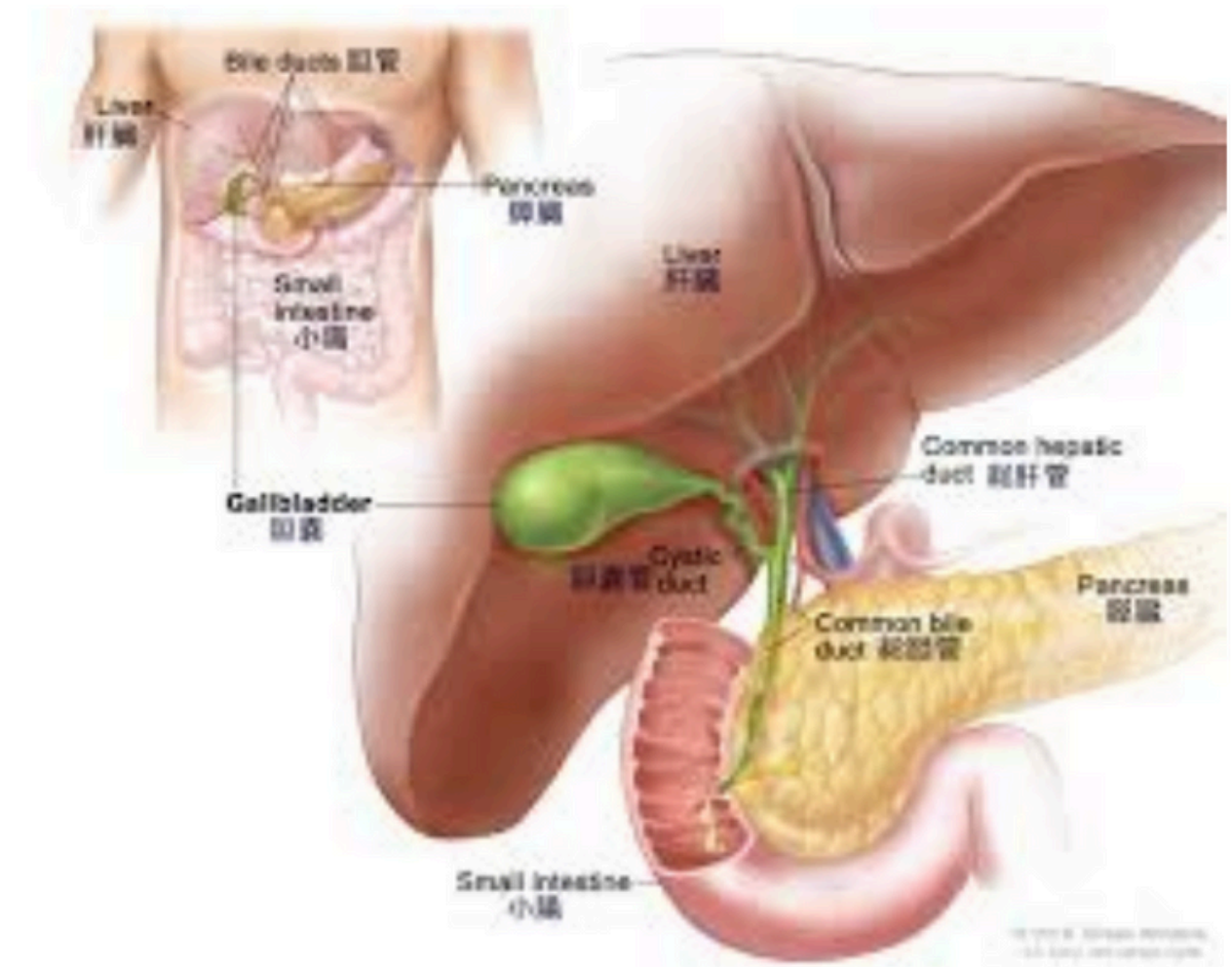
- ①右第3肋骨内側
- ②右手の水かき遠位部

胆嚢評価

- ①胆嚢圧痛
- ②胆嚢・反射点硬さ

内臓治療

胆嚢プレス



胃治療

内臓反射点

- ①右母指球遠位部
- ②体幹第 3 肋骨中央(左)
- ③胸椎7番

胃評価

- ①反射点硬さ
- ②ROM（肩関節屈曲）

内臓治療

- ・胃下垂リフト
- ・胃リリース（横隔膜・大腸）



胃リリース

(位置)

T4 までであり正面内側にあるが、その先は右側にずれて心臓のための場所を開けている。

幽門は、L1～L2（立位だとL3付近）

(繋がり)

- ・肝臓と胆嚢が小網を經由
 - ・肝冠状間膜を經由して横隔膜
 - ・胃横隔間膜を經由して横隔膜
 - ・胃脾間膜を經由して脾臓
 - ・大網を經由して横行結腸
- 直接連結しているケースもあり

(感情)

心配・悩み

(胃の主な機能)

- ・固形を食物をすりつぶし、脂肪を乳化し、タンパク質を前消化する
- ・胃液の分泌

(逆流性食道炎)

95%の患者さんが裂孔ヘルニアが生じている。

胸椎が後湾し縦隔が短縮した結果、食道裂孔の緊張度が変化する。

(症状)

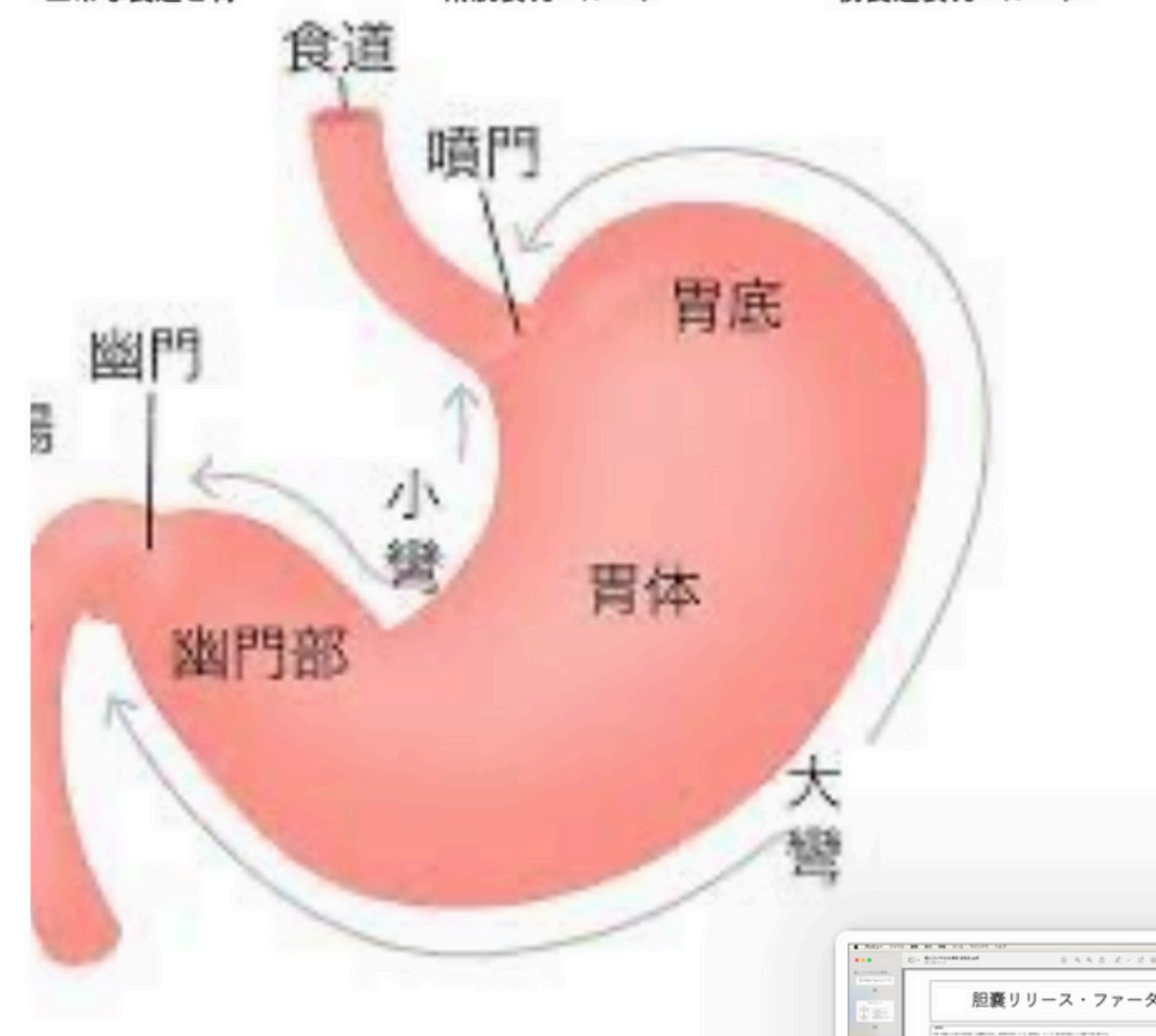
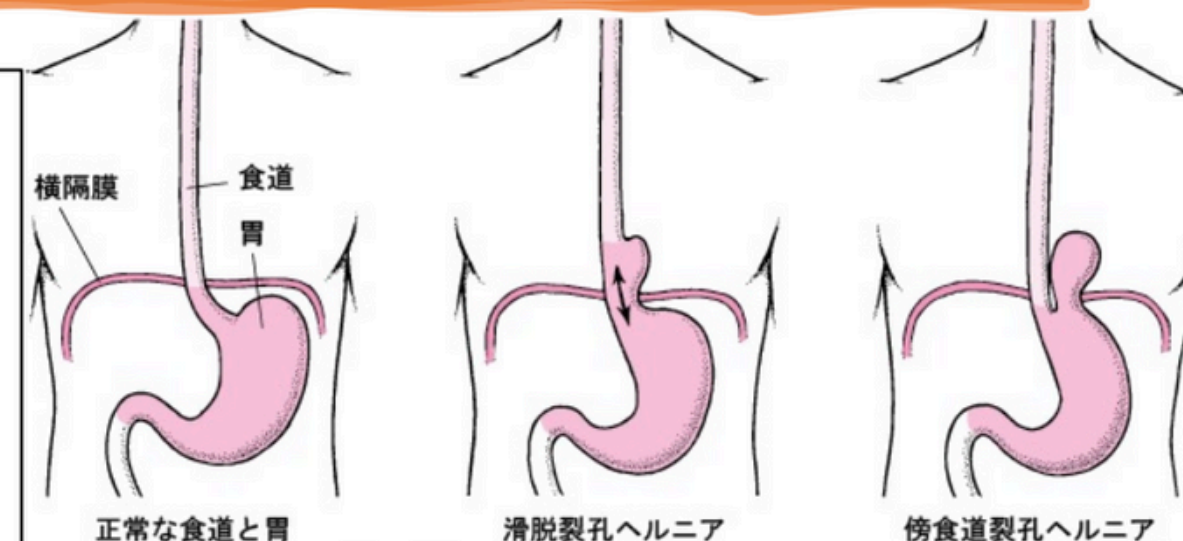
- ・左側の肩関節周囲炎
- ・左側の首や腕の痛み
- ・食事後の体調不良
- ・食事を摂ると頭痛が起こる

※胃—食道—喉頭—咽頭—頭蓋のつながり

(アプローチ)

裂孔ヘルニアは、下方に牽引する
下垂は、リフトしていく

(チャクラ) 第3チャクラ



大腸・十二指腸リリース

大腸評価

①大腸硬さ

②ROM

※上行結腸側の神経支配：迷走神経(頸部に症状が出やすい)

下行結腸側の神経支配：骨盤神経(腰痛として、症状に出やすい)

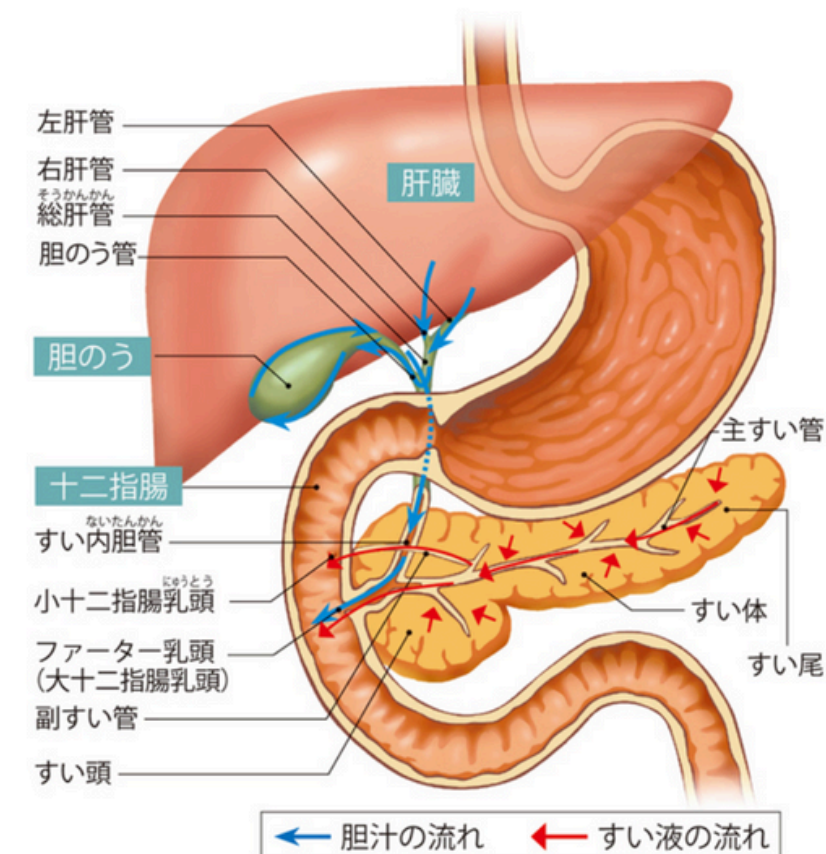
大腸治療

・大腸リリース

十二指腸評価

①左水かき遠位部

②十二指腸圧痛



小腸リリース

内臓反射点

(回盲弁 反射点)

①右母指球の近位部 ②第3肋骨の外側(右)

(S状結腸 反射点)

①左母指球近位部 ②第3肋骨外側(左)

小腸評価

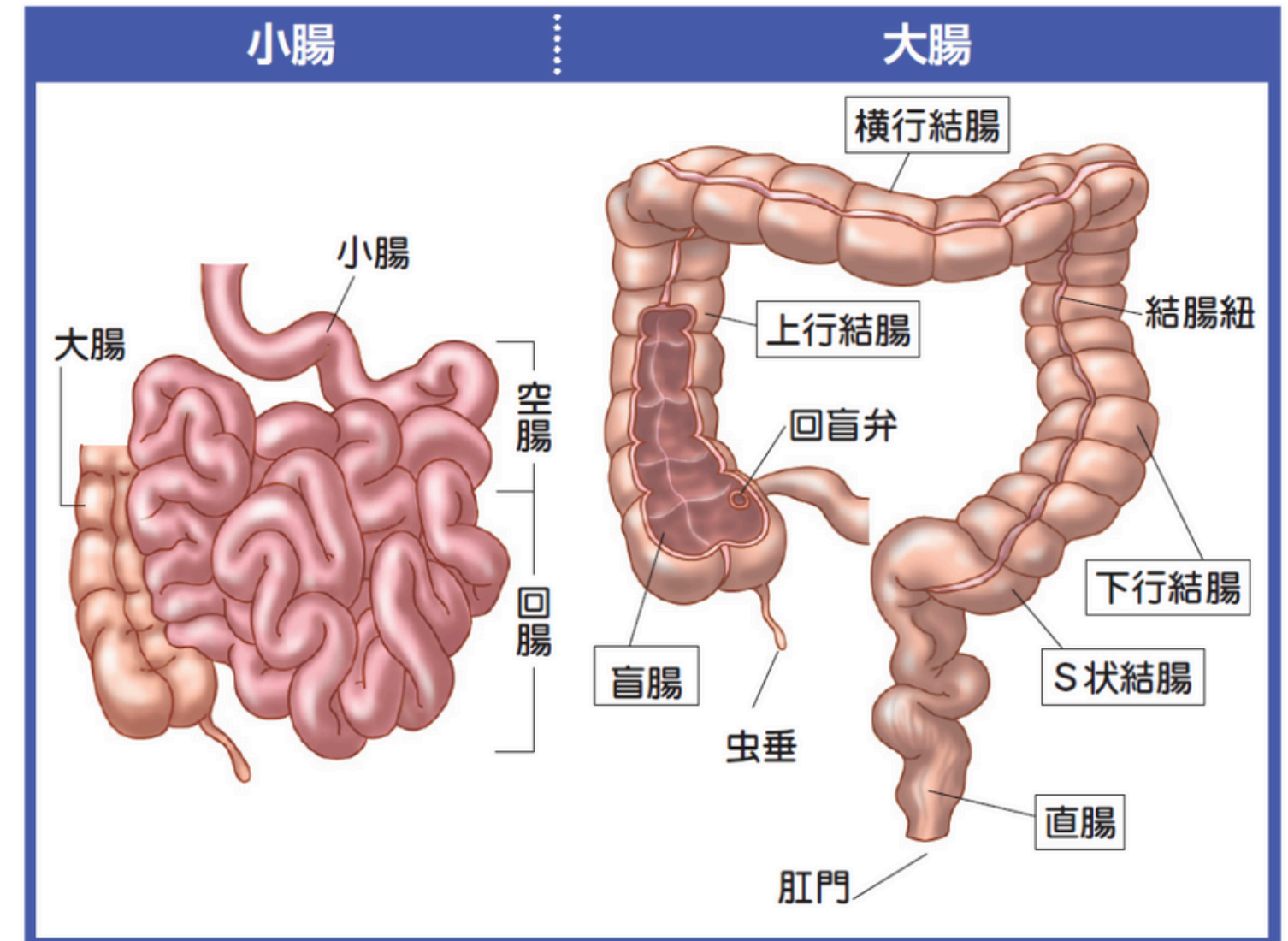
①反射点硬さ

②ROM (体幹伸展・屈曲)

③小腸可動性

内臓治療

- ・小腸リフト
- ・回盲弁リリース
- ・S状結腸リリース



心臓・胸腺リリース

内臓反射点

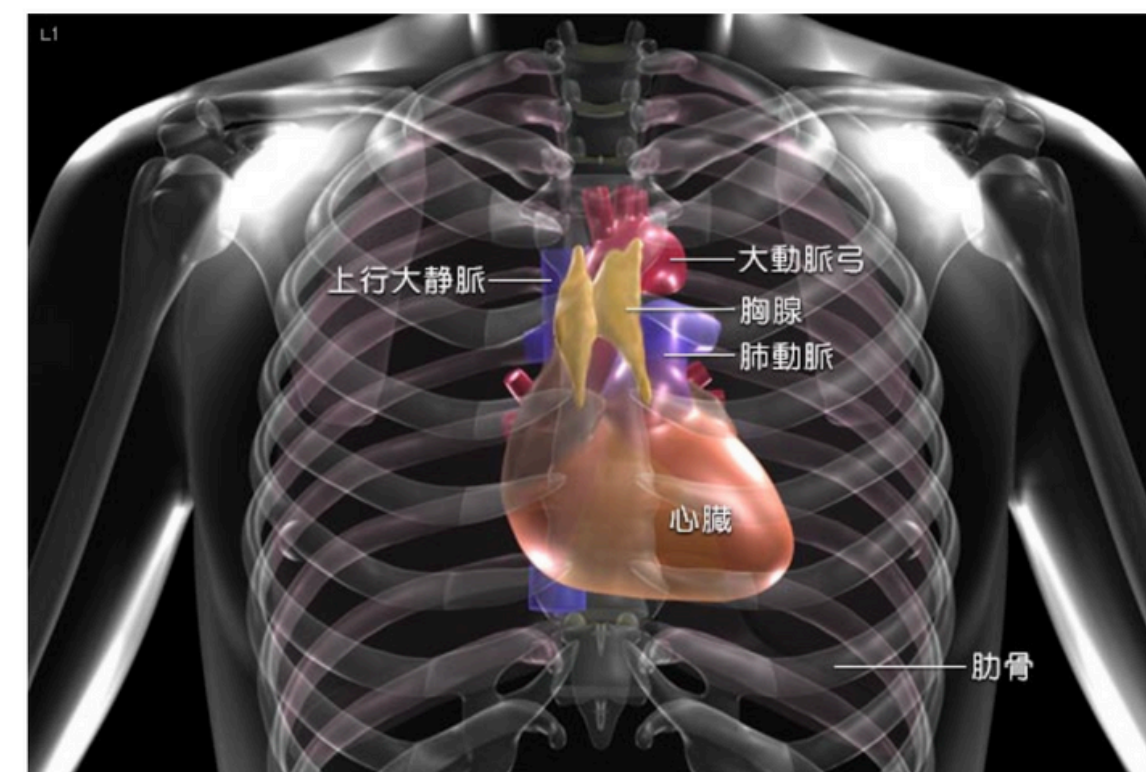
- ①左母指球中央
- ②下肢腓腹筋アキレス腱移行部(左)
- ③体幹左第2肋骨中央
- ④上腕内側
- ⑤胸椎1番

内臓評価

- ・ROM（左肩、頸部）

内臓治療

- ・心臓リフト、リリース

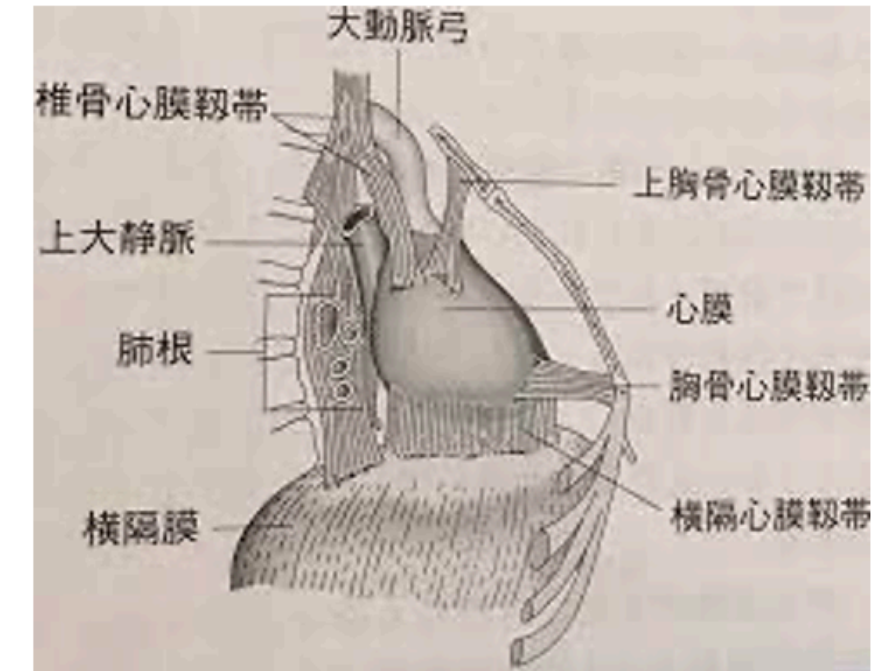


心臓と胸骨の連結

- ・そもそも、心臓は心膜という漿液で満たされた膜の中で自由に動けるようになっている
- ・心膜に靱帯・筋膜・血管が連結し、心臓の位置を胸腔内に保持している。
- ・左肩・首の痛み⇒横隔神経の関係で腕神経叢と重なりがあり痛みが出現しやすい！
- ・頭痛（こめかみ）⇒蝶形骨と関与している

【心臓の靱帯・筋膜連結】

- ・上胸骨心膜靱帯：胸骨上端と心膜をつなぐ靱帯
- ・下胸骨心膜靱帯：胸骨下端と心膜をつなぐ靱帯
- ・横隔心膜靱帯：横隔膜と心臓をつなぐ靱帯
- ・椎骨心膜靱帯：T3～T5レベルの椎体から心膜をつなぐ
- ・大動脈・血管が心臓を支える
- ・蝶形骨から垂れ下がる頬咽頭筋膜・翼状筋膜・気管前筋膜が心膜につながることで蝶形骨から心臓がぶら下がっているような構造を作る。
- ・ディープフロンタライン（DFL）として椎前筋膜、斜角筋、内側斜角筋筋膜が後頭基底部にから心膜についていることで後頭骨からぶら下がるような構造
- ・横隔膜へのアプローチで心臓を上下に動かすことも可能となり、蝶形骨の傾きや変位を調整することでも心臓を調整することができます。



胸骨を介して心臓にアプローチすることもできれば、胸椎・頸椎からも靱帯・神経系のつながりをアプローチすることができます。

肺リリース

肺反射点

- ①C2, 3(第2, 3頸椎) (※第一頸椎でも緩みます)
- ②鎖骨中央

肺評価

- ①胸郭の硬さ
- ②反射点の硬さ

内臓治療 肺

- ・肺リリース
- ・肺＋上顎骨リリース



腎臓リリース

内臓反射点

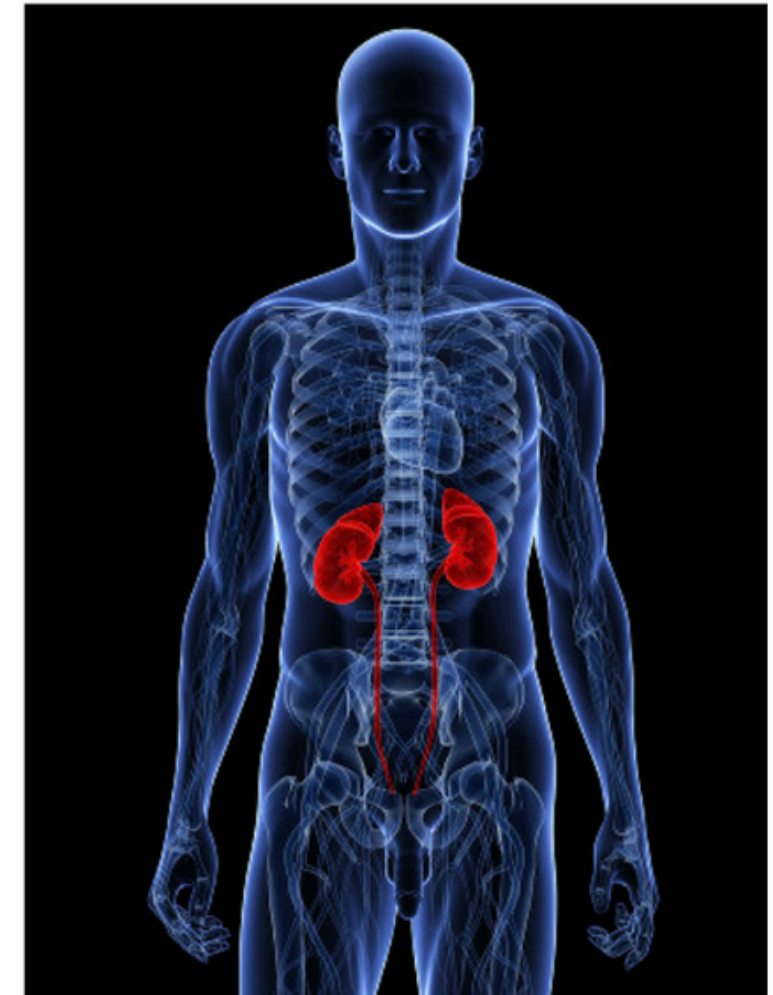
- ①上肢→示指中手骨頭
- ②下肢→腓腹筋内側頭+内側ハムスト停止部の合わさっている所
- ③肋骨部→第 2 肋骨の外側

内臓評価

- ・ 頸部、腰部のROM、反射点の硬さ
- ・ ROM（両肩・腰部）

内臓治療

- ・ 腎臓リフト



- 腎臓には「消化器の腎臓」という呼び名もあります。
- 名前の由来としては、消化器が右腎臓に大きな影響を与えることからつけられています。
- 右腎臓に影響を与える主な臓器は、肝臓と上行結腸と言われております。

• 右腎臓が下垂しやすい理由

①肝臓がより強く下に押してくるため

②右側の方がトルツ靱帯が弱い

③左結腸曲の方が強く固定されている

他にも十二指腸の機能障害を受けたり（構造的に近い）

上行結腸の圧迫（肝臓の圧迫による二次的な意味合いが強い）、

小腸の下垂から腎臓がうっ血することもある。

他にも「生殖器の臓器」という名前もあります。

これは、左腎臓が卵巣/精巣静脈に大きな影響を受けることからつけられています。

ここのつながりが左腎下垂につながっています。

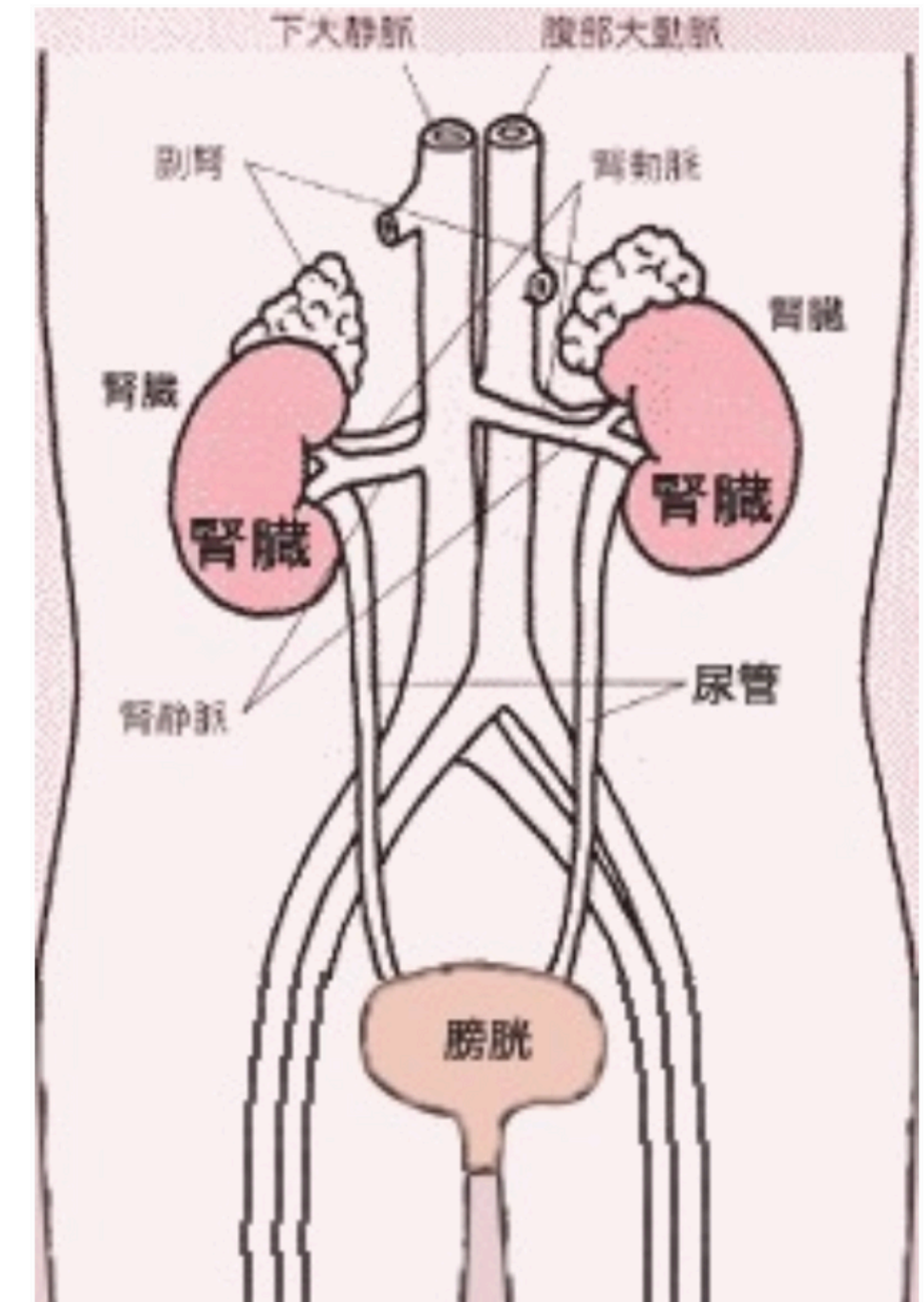
左卵巣/精巣静脈は、

左腎静脈に入ってから下大静脈に入るため影響を受けやすい。

右卵巣/精巣静脈は直接、下大静脈に入る。

ゆえに左腎臓は、うっ滞症状を生殖器の影響で起こることが多い。

他にも結腸が悪影響を引き起こすこともあるので、注意が必要！



膵臓リリース

内臓反射点

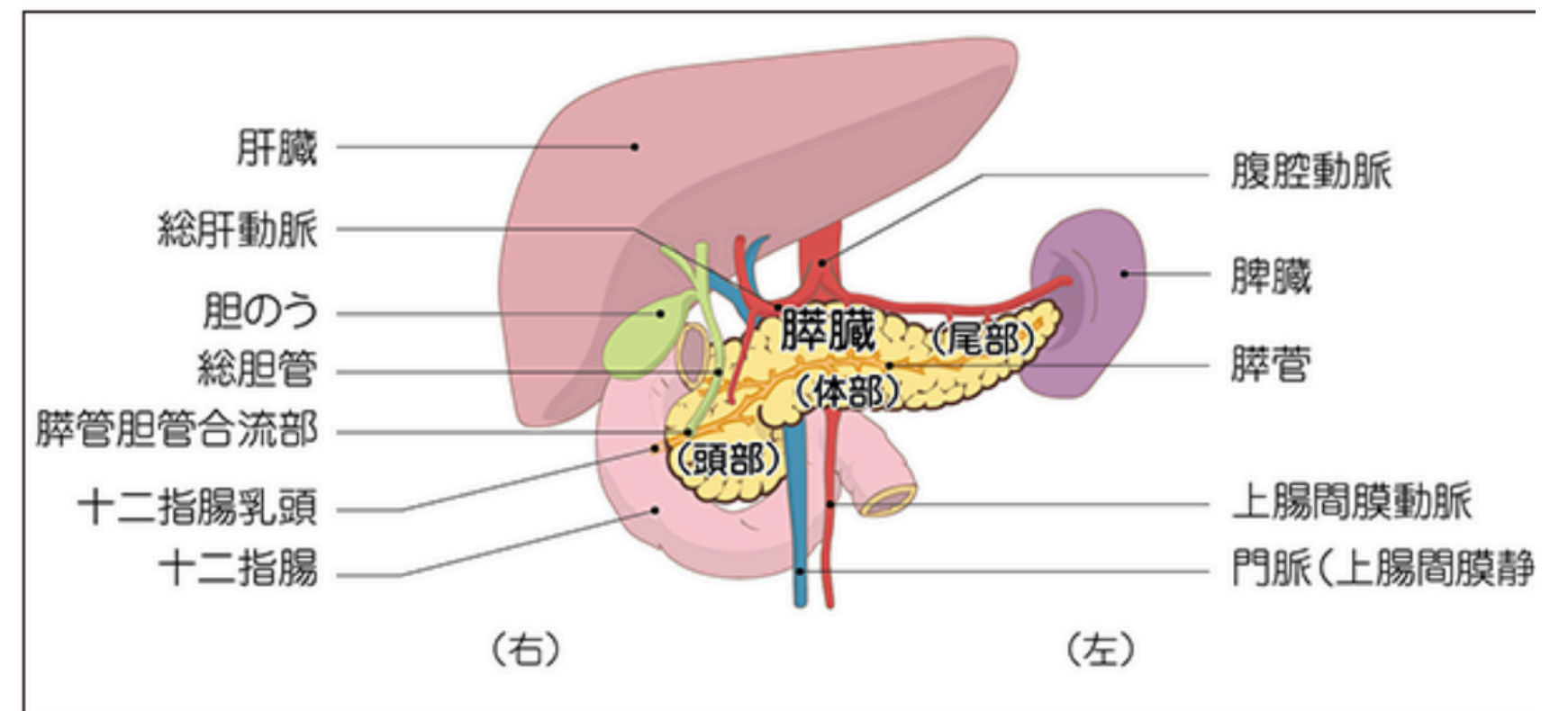
- ①上肢:右手の母指球中央
- ②肋骨:左第3肋骨内側

内臓評価

- ・ROM (両肩・腰部)

内臓治療

- ・膵臓リフト
- ・膵臓プレス



腎臓リリース

内臓反射点

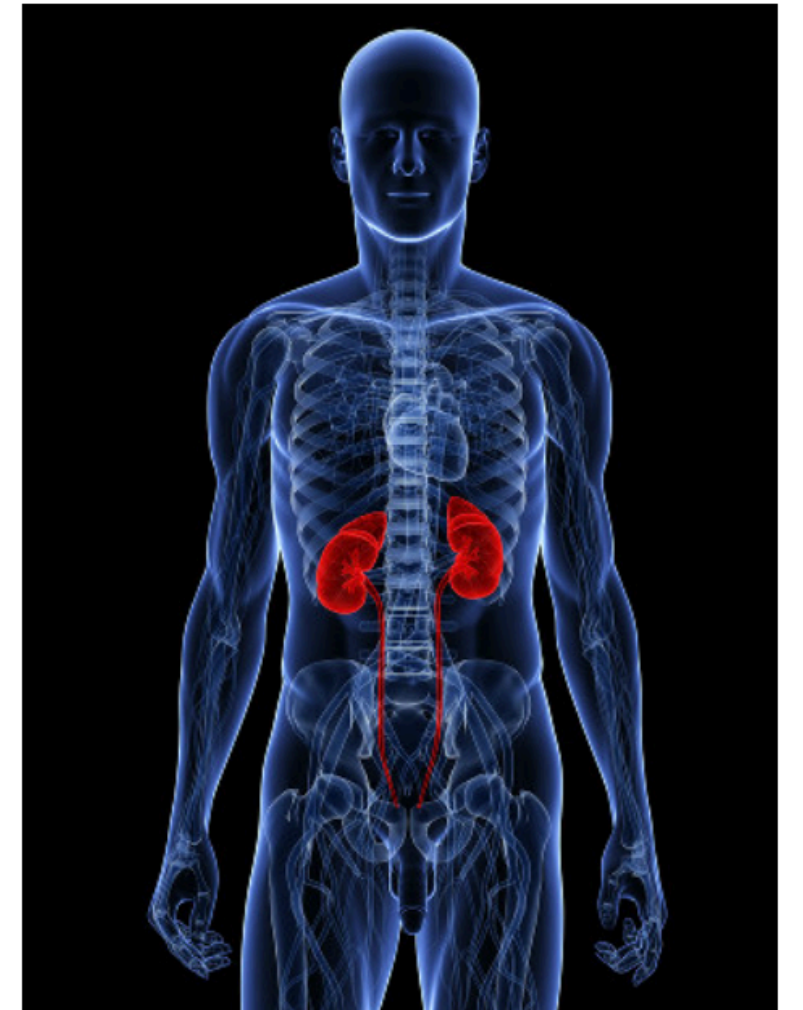
- ①上肢→示指中手骨頭
- ②下肢→腓腹筋内側頭+内側ハムスト停止部の合わさっている所
- ③肋骨部→第 2 肋骨の外側

内臓評価

- ・ 頸部、腰部のROM、反射点の硬さ
- ・ ROM（両肩・腰部）

内臓治療

- ・ 腎臓リフト



脾臓リリース

内臓反射点

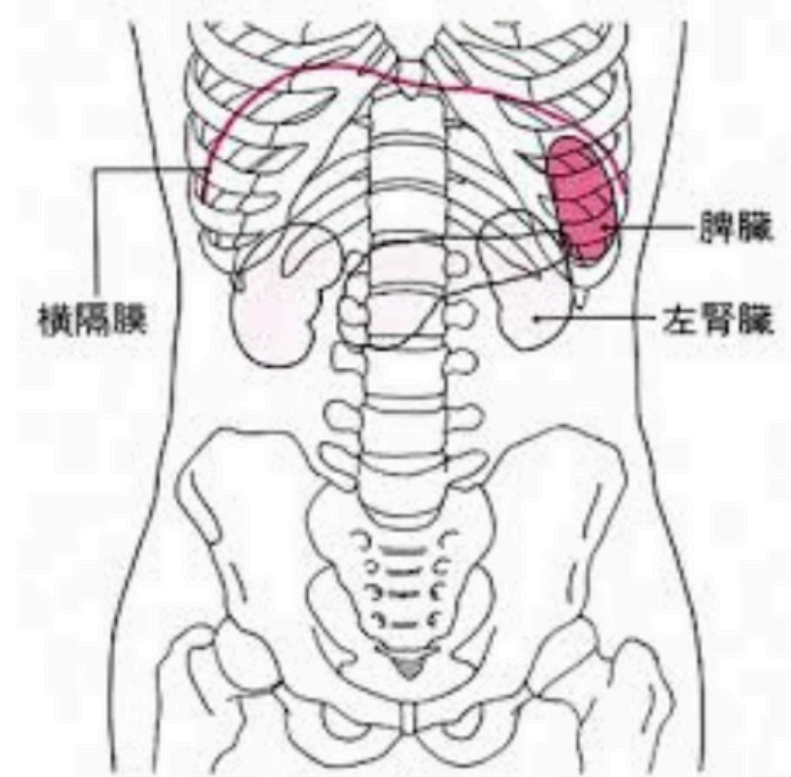
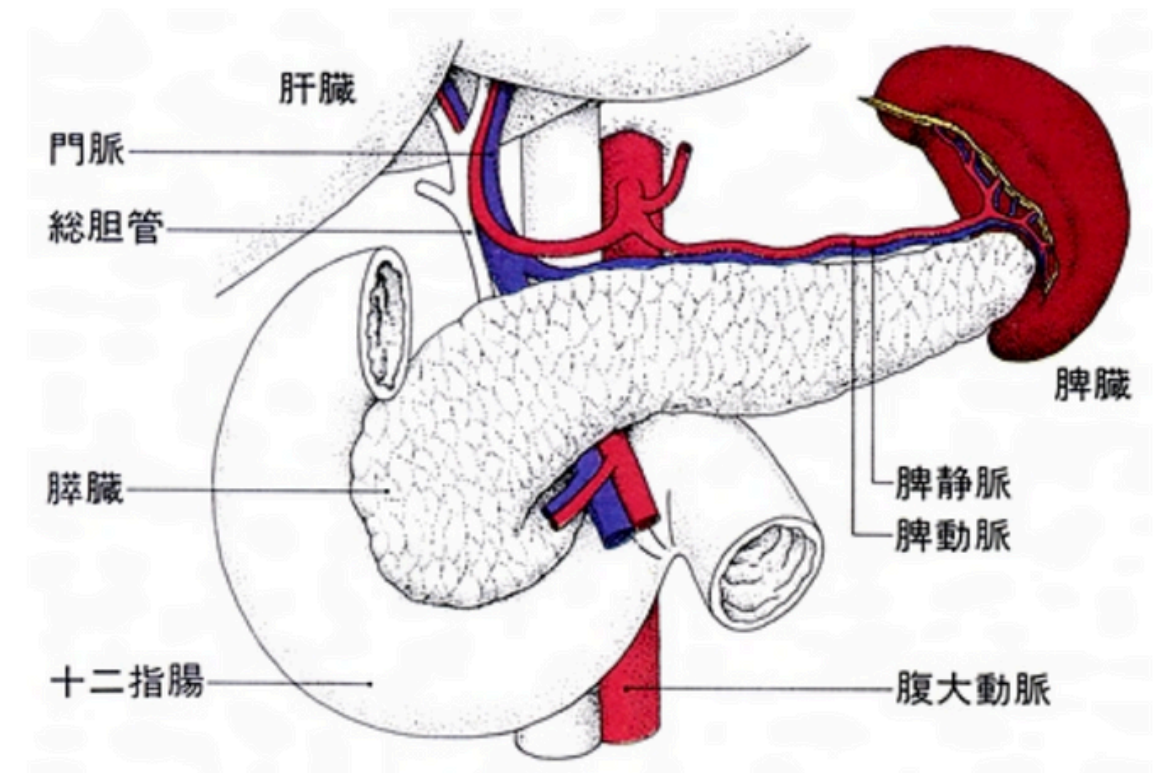
- ①左母指水かき
- ②左恥骨
- ③TFL

内臓評価

- ・ROM（左肩、左頸部）

内臓治療

- ・脾臓リリース
- ・脾臓リフト



子宮・卵巣リリース

内臓反射点

- ・ 右第一中手骨と第2中手骨の交点
- ・ 左右第4肋骨外側
- ・ 左右PSISの1横指下
- ・ TFL

内臓評価

- ・ ROM（膝倒し）
- ・ 下腹部の硬さ

内臓治療

- ・ 子宮、卵巣リリース

